

佐賀県県民協働課長 様

住 所 佐賀県佐賀市新中町 8-20 リファイン佐賀敷地内
団 体 名 一般社団法人ぷらむ佐賀
代表者職・氏名 理事長 犬丸理枝子
電話番号 0952(60)2636

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和3年度において当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して下記のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 活用実績報告書（様式第7号 別紙1）
- 2 収支決算書（様式第7号 別紙2）

令和3年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

団体名 一般社団法人ふらむ佐賀

1 事業実施期間 2021年4月1日から2022年3月31日まで

2 事業の成果（県民の便益にどのようにつながったのかについて記載）

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、活動に制限がかかることが多かったが、その中でも、家族交流会の定期開催ができ、当事者家族の方々40名がさんかしていただき、現状などを聞くことができた。

また、勉強会・研修会の年6回の開催、10回のケース会議の開催により、家族会の皆さんに高次脳機能障害に対する理解や対応方法の取得、医療福祉関係者の方々の理解、行政関係者への理解の促進を図ることができた。

一方で、視察を予定していたが、コロナウイルスの影響で先方の受け入れができず、オンラインでのやり取りが中心となり、現場視察を行い運営面や経営面での理解を深めるまでに至らなかった。

その中でも、家族会からの相談により、福岡県のグループホームへの取次などの対応ができたことは、定期的な家族会での交流で当法人を認知してもらえている、という自信となった。

3 寄附金を活用して行った事業の実施に関する事項

(1) 今年度寄附金を活用して行った事業（GCFを行った場合はGCF名とその内容を記載）

事業名	具体的な事業内容	(A)実施日時 (B)実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の支出金額 (単位：千円)
① 家族交流会事業	高次脳機能障害の当事者及びその家族の不安や悩みの解消・情報提供をするための交流会を開催する。	(A) 奇数月（年3回） (B) 佐賀県内 (C) 4名	(D) 高次脳機能障害当事者・家族 (E) 40名	260
② 勉強会事業	高次脳機能障害について理解し、当事者・家族の問題の軽減と対応方法の取得を目的とする勉強会を開催する。	(A) 年6回 (B) 佐賀県内 (C) 3名	(D) 高次脳機能障害当事者・家族、医療福祉関係者 (E) 78名	362
③ グループホーム設立に向けた視察や勉強会参加	高次脳機能障害向けグループホームの設立に向け、他県等の先進事例の視察や勉強会を開催する。	(A) 年10回 (B) 福岡県等の近県及び (C) 2名	(D) 高次脳機能障害支援に関心のある人、行政・福祉関係 (E) 51名	5

④ 上記①～③を達成するための事業全般	上記の事業を実施するために必要な管理や運営についての広報や雇用を行う	(A) 随時 (B) 佐賀県内 (C) 2名	(D) 高次脳機能障害当事者・家族、医療福祉関係者、行政関係者 (E) 169名	580
---------------------	------------------------------------	------------------------------	---	-----

(2) 次年度繰越金が発生する場合、その活用見込み

事業名	具体的な事業内容	(A) 実施日時 (B) 実施場所	事業費の支出金額 (単位：千円)
① グループホーム設立に向けた積立金	高次脳機能障害向けグループホームの設立に向けた積立を実施する。	(A) 随時 (B) 佐賀県内	1321

